

令和6年2月29日

令和6年第1回神奈川県議会定例会

総務政策常任委員会報告資料

政策局・総務局

目 次

ページ

1	新かながわグランドデザイン（案）について……………	1
2	第3期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について……………	8
3	「第3期 行政改革大綱（案）」について……………	23

参考資料1	新かながわグランドデザイン基本構想（案）	
参考資料2	新かながわグランドデザイン実施計画（案）	
参考資料3	県民意見募集の概要	
参考資料4	第3期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）	
参考資料5	第3期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略 附属資料 数値目標・KPI一覧表（案）	
参考資料6	第3期 行政改革大綱（案）	
参考資料7	働き方改革取組方針（案）	
参考資料8	第3期 組織・人事改革戦略（案）	
参考資料9	第3期 神奈川県職員健康経営計画＜県庁CHO計画＞（案）	
参考資料10	神奈川DX計画（案）（本編）	
参考資料11	神奈川DX計画（案）（施策集）	
参考資料12	神奈川県公共施設等総合管理計画（令和4年3月改訂）	
参考資料13	神奈川県広報戦略（案）	

1 新かながわグランドデザイン（案）について

(1) 趣旨

- ・ 2040年頃には団塊ジュニア世代が65歳以上の高齢者となり、神奈川の高齢者数と高齢化率はともにピークを迎え、さらには神奈川の総人口は900万人を下回り、これまで見据えてきた課題がより一層鮮明化していくことが予測される。将来の不確実性が高まる中、社会に潜在する課題をあらかじめ浮き彫りにしていくことが重要である。そのためにも、できる限り将来の展望や課題を明らかにし、長期的なビジョンを県民と共有する必要がある。
- ・ こうしたことから、これまで掲げてきた「いのち輝くマグネット神奈川」の理念を継承し、2025年よりもさらに先を見据えて「基本構想」を見直すとともに、政策を着実に実行するための新たな「実施計画」を策定することとし、「新かながわグランドデザイン（案）」を作成した。

(2) これまでの検討状況

- 令和5年4月17日 神奈川県総合計画審議会（以下「総計審」という。）に新たな総合計画の策定等について諮問
- 6月8日 総計審で策定基本方針（案）の審議、了承
- 6月29日、第2回県議会定例会 全常任委員会へ策定基本
30日 方針（案）の報告
- 7月12日 県民意見募集等の実施（8月15日まで）
- 8月30日 総計審で骨子（案）の審議、了承
- 9月27日、第3回県議会定例会 全常任委員会へ骨子（案）
28日 の報告
- 10月16日 県民意見募集等の実施（11月15日まで）
- 11月21日 総計審で素案（案）の審議、了承
- 12月8日、第3回県議会定例会 全常任委員会へ素案の報告
11日
- 12月19日 県民意見募集等の実施（令和6年1月17日まで）
- 令和6年1月29日 総計審で「新かながわグランドデザイン（案）」
を審議、了承

(3) 素案からの主な変更点

ア 基本構想（案）

- ・ 「2040年に向けた政策の基本方向」に労働力不足の深刻化への対応を追加（参考資料1 17ページ）

イ 実施計画（案）

- ・ プロジェクトのロジックモデルを掲載（参考資料2 9、128ページ）
- ・ プロジェクトのKPIを変更（PJ2教育、PJ6経済・労働）
- ・ プロジェクト事業費を掲載（参考資料2 126ページ）

(4) 基本構想（案）の概要

策定に当たって

- 1 策定の趣旨
- 2 計画の位置付け
- 3 計画の構成
- 4 神奈川の姿
- 5 基本構想の見直しの視点

第1章 基本目標（議決対象）

- 1 目標年次 2040（令和22）年
- 2 基本理念 「いのち輝くマグネット神奈川」を実現する
- 3 神奈川の将来像
 - (1) 誰もが安心してくらせる やさしい神奈川
 - (2) 誰もが自らの力を発揮して活躍できる神奈川
 - (3) 変化に対応し 持続的に発展する神奈川

第2章 政策の基本方向（議決対象）

- 1 2040年に向けた政策の基本方向
 - (1) 将来に希望の持てる社会をつくります
 - (2) 国内外から選ばれ 持続的に発展する都市をつくります
 - (3) 地球規模の課題に対して役割を果たします
 - (4) 誰もが自分らしく生きられる社会をつくります
 - (5) 安全・安心で持続可能な社会をつくります
 - (6) 多様な担い手との協働・連携を強化します
 - (7) 市町村との協調・連携のもと 広域自治体の責任と役割を果たします
- 2 政策分野別の基本方向
 - (1) 子ども・若者・教育
 - (2) 健康・福祉
 - (3) 産業・労働
 - (4) 環境・エネルギー
 - (5) 共生・県民生活
 - (6) 危機管理・くらしの安心
 - (7) 県土・まちづくり

3 地域づくりの基本方向

(1) 基本的考え方

(2) 地域政策圏

- ・ 川崎・横浜地域圏
- ・ 三浦半島地域圏
- ・ 県央地域圏
- ・ 湘南地域圏
- ・ 県西地域圏

第3章 基本構想の見直し

神奈川をとりまく社会環境

(5) 実施計画（案）の概要

県の重点施策を分野横断的に取りまとめ、ねらいや具体的な取組などを示す「プロジェクト」、県の政策の全体像を総合的・包括的に示す「主要施策」などで構成する。

ア 計画期間

2024（令和6）年度から2027（令和9）年度までの4年間

イ 計画の構成

1 策定に当たって

2 めざすべき4年後の姿

「県民目線のデジタル行政でやさしい社会の実現」

3 プロジェクト

テーマⅠ 希望の持てる神奈川

P J 1 子ども・若者

～子ども・若者が明るい未来を描けるかながわ～

P J 2 教育

～変化の激しい社会に適応できる柔軟で自立した人材の育成～

P J 3 未病・健康長寿

～未病改善や医療・介護の充実による生き生きとくらせる社会～

P J 4 文化・スポーツ

～心身ともに健康で豊かな生活ができる活力ある地域社会～

P J 5 観光・地域活性化

～かながわの地域資源を生かした魅力的な地域づくり～

テーマⅡ 持続的に発展する神奈川

P J 6 経済・労働

～県内産業の活性化と多様な人材の活躍促進～

P J 7 農林水産

～地産地消の推進による持続可能な農林水産業の実現～

P J 8 脱炭素・環境

～未来のいのちや環境を守る脱炭素社会の実現をめざして～

テーマⅢ 自分らしく生きられる神奈川

P J 9 生活困窮

～誰もが自分らしく夢や希望を持つことができる地域づくり～

P J 10 共生社会

～障がい、国籍、性別によらない、ともに生きる社会の実現～

テーマⅣ 安心してくらせる神奈川

P J 11 暮らしの安心

～くらしや経済活動を取りまく脅威から県民を守る～

P J 12 危機管理

～災害に強いかながわをめざして～

テーマⅤ 神奈川を支える基盤づくり

P J 13 都市基盤

～持続可能な県土の形成をめざして～

4 神奈川の戦略

- (1) ヘルスケア・ニューフロンティアの推進
- (2) 輝き続ける人生100歳時代の実現
- (3) ロボット共生社会の実現
- (4) マグネット・カルチャーの推進
- (5) グローバル戦略の推進

5 プロジェクトに関連する地域づくりの取組

- ・ 川崎・横浜地域圏
- ・ 県央地域圏
- ・ 県西地域圏
- ・ 三浦半島地域圏
- ・ 湘南地域圏

6 新かながわランドデザインとSDGs

7 主要施策

政策分野別の体系

- | | |
|-------------|----------------|
| I 子ども・若者・教育 | V 共生・県民生活 |
| II 健康・福祉 | VI 危機管理・暮らしの安心 |
| III 産業・労働 | VII 県土・まちづくり |
| IV 環境・エネルギー | |

8 計画推進

- (1) 計画推進のための行政運営
- (2) 計画の進行管理
- (3) 個別計画・指針
- (4) プロジェクト事業費

9 参考資料

- (1) プロジェクトの指標・KPI・ロジックモデル
- (2) プロジェクトと主要施策との関係

(6) 政策局・総務局関連のプロジェクト

(: とりまとめ局、 : 関連局)

ア 政策局がとりまとめ局となっているプロジェクト

PJ5 観光・地域活性化 (参考資料2 21ページ) 政策局

～かながわの地域資源を生かした魅力的な地域づくり～

<具体的な取組>

- ・観光の振興
- ・地域にひとの流れをつくる取組の推進
- ・移住・定住の促進

イ 他局がとりまとめ局となり、政策局・総務局が関連局となっているプロジェクト

PJ3 未病・健康長寿 (参考資料2 17ページ) 政策局 総務局

～未病改善や医療・介護の充実による生き生きとくらす社会～

<具体的な取組>

- ・未病改善による健康寿命の延伸
- ・人口減少・超高齢社会においても持続可能で質の高い保健・医療の提供

PJ6 経済・労働 (参考資料2 25ページ) 政策局

～県内産業の活性化と多様な人材の活躍促進～

<具体的な取組>

- ・産業競争力の強化

PJ8 脱炭素・環境 (参考資料2 29ページ) 政策局 総務局

～未来のいのちや環境を守る脱炭素社会の実現をめざして～

<具体的な取組>

- ・多様な主体による取組の後押し

- ・ 県庁による率先した取組

PJ9 生活困窮 (参考資料2 33ページ) **政策局**

～誰もが自分らしく夢や希望を持つことができる地域づくり～

＜具体的な取組＞

- ・ 孤独・孤立に悩む方への社会とのつながりの支援

(7) 政策局がとりまとめ局となっている神奈川の戦略

神奈川の戦略1 ヘルスケア・ニューフロンティアの推進

(参考資料2 49ページ)

＜具体的な取組＞

- ・ 未病の改善
- ・ 最先端医療・最新技術の追求
- ・ 次世代社会に向けた基盤づくり

神奈川の戦略2 輝き続ける人生100歳時代の実現

(参考資料2 51ページ)

＜具体的な取組＞

- ・ 生き生きとくらせる健康づくりの推進
- ・ 人生の充実につながるライフスタイルの多様化の促進
- ・ 地域・社会で自分らしく活動できる環境の創出

(8) 素案に対する県民意見募集等

ア 実施期間

令和5年12月19日～令和6年1月17日

イ 実施方法

- ・ 県民参加パンフレットの配架（県機関・市町村・高校・大学など）、イベント・会議等で配布
- ・ 県のたより、ホームページ、SNSで情報発信
- ・ 対話の広場で意見交換
- ・ 県内全市町村に対し、文書による意見照会を実施

ウ 意見数

290件（うち県民273件、市町村17件）

(7) 性別・年代別の件数（回答があった方のみ）

男性	女性	合計
105	85	190件

10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	合計
12	29	35	49	36	24	0	0	185件

(イ) 分野別の件数

分野	件数	分野	件数
子ども・若者・教育	54	共生・県民生活	33
健康・福祉	29	危機管理・くらしの安心	44
産業・労働	46	県土・まちづくり	29
環境・エネルギー	28	計画全般（その他）	27
合 計			290件

(9) 今後の予定

令和6年3月 「基本構想」議案の議決後、神奈川県総合計画審議会から答申

「基本構想」及び「実施計画」の決定

<別添参考資料>

- ・参考資料1 新かながわグランドデザイン基本構想（案）
- ・参考資料2 新かながわグランドデザイン実施計画（案）
- ・参考資料3 県民意見募集の概要

2 第3期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について

(1) 経緯

令和4年12月、国が「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、新たに「デジタル田園都市国家構想総合戦略」（以下「国総合戦略」という。）を策定したことを踏まえ、「第2期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「第2期総合戦略」）を見直し、新たに「第3期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「第3期総合戦略」）を策定する。

(2) 第3期総合戦略策定の考え方

- ・ 地方創生を進めていくうえで、県がめざす理想像を地域ビジョンとして示す。
- ・ 第2期総合戦略の4つの基本目標の枠組みを維持し、これまでに根付いた課題認識や取組を継続するほか、現在策定を進めている「新かながわグランドデザイン実施計画」の考え方や位置付けられた施策を反映する。
- ・ 国総合戦略において、「デジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化」とされていることを踏まえ、デジタルを活用した取組を位置付けるとともに、国総合戦略に位置付けられた教育や防犯・防災に係る施策を取り入れる。

(3) 経過

令和5年5月16日	内閣官房によるデジタル田園都市国家構想に関する現地説明会において、県内市町村へ第3期総合戦略策定の進め方を説明
8月2、4日	神奈川県地方創生推進会議総合戦略推進評価部会において、第3期総合戦略策定の方向性を議論
11月17日	令和5年度第1回神奈川県地方創生推進会議において、「第3期総合戦略（素案）」を議論
12月8日	第3回県議会定例会 全常任委員会へ「第3期総合戦略（素案）」を報告
12月14日	第3期総合戦略（素案）に係る市町村向け説明会開催
〃	市町村意見照会の実施（令和6年1月5日まで）
〃	県民意見募集の実施（令和6年1月15日まで）

令和6年1月31日

令和5年度第2回神奈川県地方創生推進会議において、「第3期総合戦略（案）」を議論

(4) 県民意見募集等の結果

ア 実施方法

- ・ 県機関での素案の縦覧
- ・ 県ウェブサイトへの掲載
- ・ 県機関・市町村におけるチラシ配布

イ 意見総数

70件（県民意見：57件、市町村意見：13件）

ウ 意見区分とその反映状況

(ア) 意見区分

区分		件数
基本目標 1	神奈川の成長力を生かして魅力的なしごとを産み出し、一人ひとりが生き生きと働ける社会を創る	8件
基本目標 2	国内外から神奈川への新しいひとの流れをつくる	17件
基本目標 3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、神奈川の未来を担う子どもたちを育てる	9件
基本目標 4	活力と魅力あふれる持続可能なまちづくり・誰もが活躍できる地域社会づくりを進める	13件
その他（質問・感想等）		23件
合 計		70件

(イ) 意見の反映状況

区分	件数
反映した意見	23件
総合戦略に記載はないが、既に取り組んでいる施策等に関する意見	3件
今後の施策展開の参考とする意見	25件
反映しない意見	1件
その他（質問・感想等）	18件
合 計	70件

令和6年2月13日時点

エ 主な意見

(7) 基本目標 1

- ・ 人材不足が叫ばれる昨今、ロボットの開発などをこれまで以上に推進し、人材不足の解消につなげてほしい。
- ・ 農林水産業の活性化のためには、新たな担い手を確保することが必要であるが、農地については、新規就農のハードルが高い。

(イ) 基本目標 2

- ・ 昨今の鎌倉は観光客であふれかえっており、食べ歩きによるゴミの散乱等で景観を損ねている。現在の観光振興が、長期的に街の発展に寄与するのか疑問であり、オーバーツーリズムについても取組に加えるべきである。
- ・ 最近、空き家が目立っているが、防犯上好ましくないし、景観も損ねる。こうした空き家を移住希望者に貸し出すことで、地域全体の活性化を図れるのではないか。

(ウ) 基本目標 3

- ・ 結婚を希望する若者に対する支援の取組はあるが、そもそも、若者が結婚を希望できるようにする取組が必要なのではないか。
- ・ 教育は、将来、神奈川県を支えてくれる世代への支援として重要であり、その点、地方創生に教育が位置付けられたことは、とても良いことである。世界に羽ばたいていけるような人材が、また、神奈川県に戻ってきてくれれば、もっと素敵な神奈川県になる。

(I) 基本目標 4

- ・ 健康長寿の延伸のためには、検診の受診率向上が基本である。特に自営業者などの特定健診の受診率向上に向けた取組を進めるべき。
- ・ 高齢になってから新しいスポーツに取り組むことはハードルが高い。これまで、スポーツをしたことがない高齢者も参加しやすい機会づくりを進めるとともに、小・中・高校生のうちにスポーツに親しむ環境づくりが必要である。

(5) 「第3期総合戦略（素案）」からの主な変更点

県議会・神奈川県地方創生推進会議からの意見、県民意見募集・市町村意見照会の結果等を踏まえ、数値目標やK P I、主な取組の一部を見直したほか、基本目標の設定、基本目標の実現に向けた施策の最小単位である「小柱」の説明文の記載などを行った。

- ・ 素案で示した基本目標の方向性を踏まえ、各基本目標を次のとおり設定

基本目標 1	神奈川の成長力を生かして魅力的なしごとを産み出し、一人ひとりが生き生きと働ける社会を創る
基本目標 2	国内外から神奈川への新しいひとの流れをつくる
基本目標 3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、神奈川の未来を担う子どもたちを育てる
基本目標 4	活力と魅力あふれる持続可能なまちづくり・誰もが活躍できる地域社会づくりを進める

- ・ 「小柱」の説明文を追加し、施策のめざす姿や第2期の振り返り、第3期での取組の方向性を記載
- ・ 第2期総合戦略と同様に、本県の地方創生の取組がSDGsの理念と軌を一にすることをより分かりやすくするため、第3期総合戦略の施策とSDGsの17のゴールとの関係を整理

(6) 第3期総合戦略（案）の概要

別紙のとおり

(7) 今後の予定

令和6年3月 「第3期総合戦略」の策定

<別添参考資料>

- ・ 参考資料4 第3期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）
- ・ 参考資料5 第3期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略
附属資料 数値目標・K P I一覧表（案）

別紙

第3期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）

<別添参考資料4、5参照>

神奈川県人口ビジョン（令和2年3月改訂）（以下「人口ビジョン」という。）で示した「克服すべき2つの課題」と「3つのビジョン」を踏まえ、デジタルの力を活用しつつ、人口減少と超高齢社会を力強く乗り越えていくため、令和6年度から令和9年度までの4年間に取り組む施策等を示すもの。

1 構成

第1章 基本的考え方

- 1 総合戦略の位置付け
- 2 人口ビジョンに掲げる2つの課題と3つのビジョン
- 3 新かながわグランドデザインと総合戦略との関係

第2章 地域ビジョン（県がめざす理想像）

第3章 基本目標

- 1 基本目標設定の考え方
- 2 基本目標ごとのねらい、施策の基本的方向、数値目標

第4章 具体的な施策

- 1 各基本目標の施策
- 2 本県の地方創生におけるデジタル活用の方向性
- 3 本県の地方創生におけるSDGs（持続可能な開発目標）

第5章 推進体制

- 1 多様な担い手との連携
- 2 PDCAによるマネジメントサイクル

2 概要

(1) 基本的考え方

第3期総合戦略は、人口ビジョンで掲げる3つのビジョンの実現を積極的に進めていくため、新かながわグランドデザイン実施計画から人口減少社会や超高齢社会への対応という観点で施策を抽出し、令和6年度から令和9年度の4年間の目標や施策の基本的方向を整理したもの。

(2) 地域ビジョン（県がめざす理想像）

地方創生を進めていくうえで、地域がめざす理想像を示すことが重要であることから地域ビジョンを掲げることとする。

なお、新かながわグランドデザイン基本構想で掲げる神奈川の将来像と地方創生の考え方が共通していることから、基本構想で掲げる神奈川の将来像を地域ビジョンとして設定する。

地域ビジョン1	誰もが安心してくらせる やさしい神奈川
地域ビジョン2	誰もが自らの力を発揮して活躍できる神奈川
地域ビジョン3	変化に対応し 持続的に発展する神奈川

(3) 基本目標

基本目標1 神奈川の成長力を生かして魅力的なしごとを産み出し、一人ひとりが生き生きと働ける社会を創る

神奈川の成長力を生かした神奈川らしい成長産業の創出などに取り組むことにより、県内に魅力的なしごとの場をつくり、安定した雇用を生み出し、多様な人材が活躍して、多様で柔軟な働き方で一人ひとりが生き生きと働くことができる社会の実現をめざす。

<数値目標>

- ・実質県内総生産（第2次産業及び第3次産業）
- ・黒字企業の割合
- ・完全失業率《暦年》
- ・1人当たり月所定外労働時間《暦年》

基本目標2 国内外から神奈川への新しいひとの流れをつくる

神奈川のマグネット力を高め、観光の振興、地域資源を活用したプロジェクトを推進することで、ひとの流れをつくり、賑わいを創出する。また、将来の移住につながるよう、各地域のマグネット力を高め、地域活性化を図り、人を呼び込み、地域に住む人と人のつながりを創出し、定住人口の増加を図る。

<数値目標>

- ・観光消費額総額《暦年》
- ・県西地域の社会増減数（2024年～2027年の累計）《暦年》
- ・三浦半島地域の社会増減数（基準年(2023年)に対する増減数）《暦年》
- ・人口が転入超過の市町村数《暦年》

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、神奈川の未来を担う子どもたちを育てる

「子どもを生むなら神奈川 子育てするなら神奈川」の実現をめざし、結婚から育児までの切れ目ない支援や困難を抱える家庭・子どもへの支援などを通じて、安心して結婚、出産、子育てができる環境を整えるとともに、妊娠・出産などに関する知識の普及やライフキャリア教育を進め、若い世代の希望の実現を図る。また、神奈川の未来を担う子どもたちが変化の激しい社会に適応していけるよう、柔軟で自立した人材の育成を進める。

<数値目標>

- ・希望出生率の実現《暦年》
- ・「安心して子どもを生み育てられる環境が整っていること」に関する満足度（県民ニーズ調査）
- ・「自分はこうなりたい、こうしたい」という夢や希望を持てたと思う生徒の割合（県立高校）
- ・将来の夢や目標を持っている児童の割合（公立小学校）・生徒の割合（公立中学校）

基本目標4 活力と魅力あふれる持続可能なまちづくり・誰もが活躍できる地域社会づくりを進める

既に超高齢社会が到来している中で、未病改善をはじめとした健康長寿の取組により元気に、高齢者が取り残されることなく安心して暮らし、文化芸術活動やスポーツに親しみ心豊かに生き生きとくらすことでいつまでも活躍できるまちづくりを進め、超高齢社会を乗り越える社会システムを創る。また、人口減少局面に入ったことから、女性、高齢者、障がい者、外国人など誰もが居場所と役割を持ち活躍できる地域社会づくりを図る。さらに、脱炭素社会の実現や、安全で安心なまちづくり、都市機能の集約化などの観点に立った持続可能な魅力あるまちづくりを進めるなど、活力と魅力あふれるまちづくりの実現をめざす。

<数値目標>

- ・平均自立期間《暦年》
- ・「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」という考え方について「そう思わない」人の割合（県民ニーズ調査）
- ・「障がいのある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だ」という考え方について「そう思う」人の割合（県民ニーズ調査）
- ・「外国人と日本人が国籍、民族、文化の違いを理解し、認め合っるとともにくらすこと」を重要だと思う人の割合（県民ニーズ調査）
- ・県内の温室効果ガス排出量の削減割合（2013年度比）
- ・「通勤・通学・買物など日常生活のための交通の便がよいこと」に関する満足度（県民ニーズ調査）

(4) 具体的な施策

ア 各基本目標の施策

基本目標1 神奈川の成長力を生かして魅力的なしごとを産み出し、一人ひとりが生き生きと働ける社会を創る

中柱1 成長産業の創出・育成、産業の集積

小柱① 未病産業、最先端医療関連産業の創出・育成【政策局】

- ・未病産業などの創出・拡大

- ・ 最先端医療産業の創出・育成

小柱② ロボット産業の創出・育成

【政策局、福祉子どもみらい局、産業労働局】

- ・ ロボットの社会実装
- ・ 県内中小企業に対するロボット産業への参入支援

小柱③ ベンチャー企業の創出・育成、産業集積の促進【産業労働局】

- ・ 成長性の高いベンチャー企業の創出・育成
- ・ 県外・国外からの企業誘致、県内企業の投資促進
- ・ 成長分野において地域の特性を生かして高い付加価値を創出する地域経済牽引事業の促進・支援
- ・ イノベーション創出を促す基礎研究から事業化までの一貫支援

中柱2 産業の活性化

小柱① 県内中小企業・小規模企業の活性化【産業労働局】

- ・ 早期に必要な対策を講じることによる中小企業の経営状況の改善
- ・ 中小企業の経営革新の促進
- ・ 中小企業の必要とする人材とのマッチング
- ・ 中小企業の円滑な事業承継の促進
- ・ 中小企業制度融資による着実な資金繰り支援
- ・ 中小企業の海外展開の支援
- ・ デジタル化などの生産性向上に向けた取組の支援
- ・ 商店街の集客力強化の支援

小柱② 農林水産業の活性化【環境農政局】

- ・ 新品種などの育成や品質・生産性を高めるスマート技術等の開発・普及
- ・ 飼料生産基盤の強化
- ・ 養殖と海業の振興や水産資源の管理体制の強化
- ・ ほ場や林道、漁港施設などの生産基盤の整備や集団的な優良農地の保全
- ・ 生産性向上のための機械・施設等整備の支援
- ・ 農林水産物のブランド力強化や付加価値の向上、利用拡大の促進
- ・ 県産木材の流通過程における認証制度の活用促進
- ・ 農林水産業の多面的機能や生産活動に対する県民の理解促進
- ・ 国際園芸博覧会を通じた県産農産物のPRによる県内外での需要拡大の推進

中柱3 就業の促進と人材育成

小柱① 多様な人材の就業・活躍支援

【福祉子どもみらい局、健康医療局、産業労働局】

- ・ キャリアカウンセリングや企業と求職者とのマッチングの場の提供等による就業支援
- ・ 女性のライフステージに応じた就業支援
- ・ 障がい者雇用の場の確保
- ・ 外国人材のための労働相談の充実・多言語化
- ・ 外国人材の活躍支援

小柱② 産業を支える人材育成【環境農政局、産業労働局】

- ・ 中小企業のリスキングによる人材育成支援
- ・ 農林水産業の多様な担い手の育成・確保
- ・ デジタル化や産業構造の変化、技術革新に対応できる人材育成
- ・ デジタル技術関連を含めた科学技術分野への女性の参画支援
- ・ 外国人材の育成

小柱③ 多様な働き方ができる環境づくり【産業労働局】

- ・ 働き方改革に関するセミナーの実施
- ・ 仕事と生活を両立できる職場環境整備の促進
- ・ 多様な働き方が選択できる労働環境整備の促進
- ・ 安心して働ける労働環境の整備

基本目標2 国内外から神奈川への新しいひとの流れをつくる

中柱1 観光の振興

小柱① 観光資源の活用や観光客の受入環境整備【国際文化観光局】

- ・ 歴史的な建造物を会議会場等として活用するなどのMICEを呼び込むための取組や、富裕層をターゲットとしたコンテンツづくりなど観光消費につなげるための取組
- ・ 多様化する外国人のニーズに対応できる質の高いガイド人材の育成
- ・ 外国人観光客の受入れ、観光DXや高付加価値化など新たな観光需要に対応した体制整備等による快適な旅ができる環境づくり

小柱② 国内外への戦略的プロモーション【国際文化観光局】

- ・ 多様なテーマに沿って県内の周遊を促すツーリズムの推進
- ・ かながわDMOや市町村、観光関連事業者等の地域の関係者と連携したプロモーションの実施
- ・ 様々なデジタルツール等を活用した情報発信

中柱2 地域資源を活用した魅力づくり

小柱① 県西地域活性化プロジェクトの推進【政策局、健康医療局】

- ・ 未病バレー「ビオトピア」などの拠点を活用した未病改善の実

践の促進

- ・ 周遊促進などによる地域のつながり強化
- ・ 県西地域における移住・定住の促進

小柱② 三浦半島魅力最大化プロジェクトの推進【政策局】

- ・ 観光の魅力を高める取組の推進
- ・ 「半島で暮らす」魅力を高める取組の推進

小柱③ かながわシープロジェクトの推進【政策局】

- ・ 民間事業者と連携したかながわ海洋ツーリズムの取組
- ・ 神奈川の海の多彩な魅力を伝える「Feel SHONAN」ウェブサイト・SNSによる情報発信

小柱④ マグカルによる地域の魅力づくり【国際文化観光局】

- ・ 伝統的な芸能体験や子ども・若者が文化芸術に触れる機会の提供
- ・ 文化芸術に関する情報発信

小柱⑤ 水源地域の活性化【政策局】

- ・ 水源地域の活性化と水源環境の理解促進

中柱3 移住・定住の促進

小柱① 移住の促進【政策局】

- ・ 県内各地域の魅力発信
- ・ 移住希望者への相談・支援
- ・ 市町村の移住促進の取組への支援

小柱② 定住しやすい環境づくり【政策局、県土整備局】

- ・ 人と人とのつながりを創出する機会や場の提供
- ・ 地域の活性化や課題解決に取り組む人材の育成
- ・ 多世代居住のまちづくりの推進

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、神奈川の未来を担う子どもたちを育てる

中柱1 結婚・出産の支援

小柱① 若い世代の経済的安定と結婚の希望をかなえる環境づくり

【福祉子どもみらい局、産業労働局】

- ・ 若者の就業支援
- ・ 市町村等と連携した結婚支援

小柱② 妊娠・出産を支える社会環境の整備【健康医療局】

- ・ 市町村等と連携した妊娠期からの伴走型相談支援・産後ケアの充実
- ・ 思春期からリプロダクティブ・エイジ期の男女を対象とした健康相談や健康教育
- ・ 産科医等の確保・育成

- ・ 周産期救急医療提供体制の整備・充実

中柱2 育児の支援

小柱① 子育てを支える社会の実現

【福祉子どもみらい局、健康医療局、産業労働局、県土整備局、教育局】

- ・ 「かながわ子育て応援パスポート」の拡大
- ・ 保育環境の充実
- ・ 保育士確保対策
- ・ 市町村と連携した保育所など多様な教育・保育サービスの充実
- ・ 小学生の放課後対策の充実
- ・ 「かながわ子育てパーソナルサポート」による子育て支援情報の発信
- ・ 小児救急医療提供体制の整備・充実
- ・ 育児のための休暇制度の創設や男性育児休業取得促進などに取り組む中小企業を支援
- ・ 県営住宅における子育て世帯の入居促進

小柱② 困難を抱える家庭への支援【福祉子どもみらい局、教育局】

- ・ 子ども・若者の居場所や見守り拠点の整備
- ・ 高校生等への就学支援の充実
- ・ ひとり親家庭の自立支援

小柱③ 困難を抱える子どもへの支援

【福祉子どもみらい局、教育局】

- ・ 子どものいのちを守るための体制強化
- ・ 里親等への委託
- ・ 社会的養護が必要な子どもたちの目線に立った権利擁護
- ・ 市町村や小児医療機関などと連携した医療的ケア児やその家族への支援
- ・ 子どもたちの声をきく機会の創出
- ・ ICTを活用したいのちの相談支援
- ・ SNSの活用を含む子ども・若者への相談支援
- ・ ケアリーバーの自立に向けた支援
- ・ ヤングケアラーの相談支援
- ・ 様々な困難を抱える児童・生徒への対応

中柱3 柔軟で自立した人材の育成

小柱① 将来を支える人材の育成【教育局】

- ・ キャリア教育の充実
- ・ シチズンシップ教育の推進
- ・ 理数教育の推進
- ・ 生徒の個性や能力を伸ばすための県立高校専門学科などにおける

る質の高い教育の充実

- ・ グローバル人材の育成

小柱② 共生社会の実現に向けた人材の育成【教育局】

- ・ インクルーシブ教育の推進
- ・ 「いのちの授業」のさらなる普及

小柱③ 教育環境の整備【教育局】

- ・ 1人1台端末を活用した教育活動
- ・ 「かながわティーチャーズカレッジ」などによる教員の確保
- ・ 外部人材や校務DXの推進等による教員の働き方改革の推進
- ・ コミュニティ・スクールの推進
- ・ 県立学校の計画的な老朽化対策や施設の更新

基本目標 4 活力と魅力あふれる持続可能なまちづくり・誰もが活躍できる地域社会づくりを進める

中柱 1 いつまでも活躍できるまちづくり

小柱① 健康長寿のまちづくり

【政策局、健康医療局、産業労働局、県土整備局、教育局】

- ・ 子どもの未病改善
- ・ 女性の未病改善
- ・ 働く世代の未病改善
- ・ 未病センターや県立都市公園など身近な場所で未病を改善する場の提供や環境づくり
- ・ 未病バレー「ビオトピア」を活用した未病の総合的な普及啓発
- ・ 健康・医療・福祉分野において社会システムや技術の革新を起こすことができる人材の育成
- ・ オンライン診療の導入など医療DXの推進
- ・ 健康情報の活用による効果的な施策の推進
- ・ がん対策や循環器病対策の推進
- ・ 地域医療に従事する医師の育成や看護師の研修等による人材確保
- ・ かかりつけ医の推進などによる上手な医療のかかり方の推進

小柱② 高齢者が生き生きとくらすまちづくり

【政策局、福祉子どもみらい局、健康医療局、県土整備局】

- ・ 保健・医療・福祉人材の育成・確保
- ・ 地域の特性を生かした支援を行う人材の育成
- ・ 福祉サービスを安心して利用することができるしくみづくり
- ・ 健康団地の取組の推進
- ・ 介護ロボット・ICTの導入による介護保険サービスの適切な提供のための基盤づくり

- ・ 高齢者が孤立しないコミュニティづくりの推進
- ・ 訪問看護推進の支援・在宅医療介護連携の支援
- ・ 「地域密着型サービス」の提供の促進
- ・ 認知症未病改善の拠点整備
- ・ 若年性認知症の人の自立支援ネットワークの構築
- ・ 認知症本人やその家族を地域で支えるしくみづくりへの支援
- ・ 認知症の人に関する正しい理解を深めるための運動の展開
- ・ 「住民主体の通いの場」等の活用によるフレイル対策、オーラルフレイル対策、認知症未病改善の取組
- ・ 「人生100歳時代」におけるライフデザイン支援

小柱③ 教養・文化に親しむ環境づくり【国際文化観光局、教育局】

- ・ 共生共創事業
- ・ 県民の学びの支援の推進
- ・ 県立文化施設や県立社会教育施設の機能充実

小柱④ スポーツに親しむまちづくり【スポーツ局、教育局】

- ・ 誰もが生涯を通じて楽しめるスポーツ活動の推進
- ・ スポーツ活動を広げる環境づくりの推進
- ・ スポーツの持つ力による地域活性化、共生社会の実現

中柱2 誰もが活躍できるまちづくり

小柱① 悩みを抱える方へ寄り添うまちづくり【福祉子どもみらい局】

- ・ 配偶者等からの暴力被害者や困難な問題を抱えた女性等への支援
- ・ 孤独・孤立対策に関する県民理解の増進
- ・ ひきこもり当事者等への相談支援及びメタバースを活用した社会参加支援
- ・ 困窮者に向けたSNS等を通じた様々な相談窓口や支援制度の情報発信
- ・ 市町村における包括的な支援体制の構築支援や関係機関と連携した自立相談支援の体制強化
- ・ 若年無業者への相談支援の充実

小柱② ジェンダー平等で多様な人が活躍できるまちづくり

【福祉子どもみらい局、産業労働局】

- ・ 性別にかかわらず意思決定過程に参画するための企業、団体等の意識改革
- ・ ライフキャリア教育など若年層をはじめとした意識啓発
- ・ 家庭・地域活動への男性の参画促進
- ・ 育児・介護等の社会的な基盤整備
- ・ 仕事と生活を両立できる職場環境整備の促進（再掲）

小柱③ 障がい者が活躍できるまちづくり

【福祉子どもみらい局、県土整備局】

- ・ メタバース等を活用した共生の場の創出
- ・ 障がい児・者への理解の浸透に向けた取組
- ・ 地域生活移行を支える人材の育成・確保
- ・ 障がい者が安心して生活できる環境の推進
- ・ 障がい者の意思決定支援の普及・定着に向けたしくみの整備

小柱④ 外国人が活躍できるまちづくり

【国際文化観光局、福祉子どもみらい局、産業労働局、教育局】

- ・ 多文化理解や国際交流の推進
- ・ 外国籍県民が安心してくらす環境の整備
- ・ 留学生へのニーズに応じた支援

中柱3 持続可能な魅力あるまちづくり

小柱① 脱炭素社会の実現【環境農政局、産業労働局】

- ・ 事業者の脱炭素化の促進
- ・ 住宅の省エネルギー化の促進
- ・ 脱炭素型ライフスタイルへの転換促進
- ・ 人流・物流の脱炭素化の促進
- ・ 再生可能エネルギーの導入促進
- ・ 脱炭素化に資する新たな技術等の実用化に向けた研究開発・実証等の促進
- ・ 森林や海洋での吸収源対策
- ・ 循環型社会の実現に向けた取組
- ・ 県庁による率先した取組

小柱② 安心してくらすまちづくり

【くらし安全防災局、県土整備局、企業局、警察本部】

- ・ サイバー空間の安全・安心を確保するための被害防止対策の推進
- ・ 防犯対策などの情報発信や普及啓発、防犯活動を担う人材育成
- ・ AIを活用した交通指導取締りの推進
- ・ 特性や社会のニーズに応じた交通安全教育や広報啓発活動の推進
- ・ AIや民間委託を活用した交通安全施設整備の推進
- ・ ライフステージに応じた消費者教育の推進
- ・ 防災DXの推進
- ・ 消防団・自主防災組織の対応力強化
- ・ 遊水地や流路のボトルネック等の整備や土砂災害防止施設の整備・維持管理、上下水道施設・民間大規模建築物などの耐震化などの取組の推進

小柱③ 交通ネットワークの充実と魅力あふれるまちづくり

【政策局、総務局、環境農政局、福祉子どもみらい局、
県土整備局、企業局、警察本部】

- ・ バリアフリーのまちづくりの推進
- ・ 老朽化が進む県営住宅の建替えや住宅確保要配慮者の居住の安定確保
- ・ 地域の実情に応じた都市機能の集約化などの促進
- ・ 県有地・県有施設の有効活用
- ・ 地域の新たな拠点づくりや地域の特色を生かしたまちづくり
- ・ 自動車専用道路網や交流幹線道路網の整備、既存道路の有効活用
- ・ 鉄道ネットワークの充実強化や安定輸送の確保
- ・ 市町村や交通事業者などと連携したスマートモビリティ社会の実現に向けた取組
- ・ AIなどのデジタル技術等を活用したインフラ施設の戦略的なメンテナンス

イ 本県の地方創生におけるデジタル活用の方向性

国総合戦略のデジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化させるといふ考え方を踏まえ、各基本目標にデジタルを活用した取組を位置付けている。各基本目標に位置付けたデジタルを活用した取組を、現在策定中の「神奈川DX計画」の「くらしのデジタル化」の施策体系に沿って整理している。

また、「神奈川DX計画」の「行政のデジタル化」の施策体系を参考に、デジタル活用による社会課題解決の土台となる県行政のデジタル化の取組を抜粋して記載している。

ウ 本県の地方創生におけるSDGs（持続可能な開発目標）

県の地方創生の取組は、新かながわグランドデザインと同様に、SDGsの理念と軌を一にするものである。地方創生の取組を進め、「いのち輝くマグネット神奈川」の実現をめざすことで、SDGsの目標である世界がめざす持続可能な社会の実現にも貢献していく。

3 「第3期 行政改革大綱（案）」について

(1) 策定の趣旨

県政を取り巻く社会環境は、人口減少・少子高齢社会の進行、個人の価値観や働き方の多様化、デジタル技術の飛躍的な進展など、大きな変革期を迎えている。

こうした社会環境の変化に対応し、社会全体の働き手が減少していく中であっても、引き続き質の高い県民サービスを提供していくため、第3期行政改革大綱を策定する。

(2) これまでの経過

令和5年9月27日	総務政策常任委員会へ骨子案を報告
12月8日	総務政策常任委員会へ素案を報告
12月19日	素案に対する県民意見募集 (令和6年1月17日まで)

(3) 基本的な考え方

行政改革をより総合的、効果的に推進するため、5つの取組分野を設定するとともに、6つの個別計画を本大綱のアクションプランとして位置づけ、数値目標や活動指標（KPI）を立て、一体的に取り組む。

計画期間は、本県の総合計画「新かながわグランドデザイン 実施計画」（案）の取組と歩調を合わせるため、2027（令和9）年度までの4年間とする。

(4) 取組分野の概要

ア 働き方改革

(ア) 長時間労働の是正

- ・ デジタル技術や民間活力の活用等による事務事業の見直し
- ・ 職員の勤務時間の適切な管理、業務負担の平準化や時間外勤務の事前命令の徹底 など

(イ) 職場環境の改善

- ・ ペーパーレス化の推進や各職員がバランスよくテレワークを実施できる環境の整備
- ・ 時差出勤、フレックスタイム制など柔軟な働き方の推進
- ・ 執務室内の設備をデジタル化に適合した仕様に改めるなどのオ

フィス環境の改善、会議室の確保や作業用被服の改善 など

(ウ) 職員意識の向上

- ・ 各局の状況に応じた取組方針の策定による考え方の共有
- ・ 働き方改革を自分事としてとらえるための「議論の場」の実施

(エ) 働きがいのある職場づくり

- ・ 職員間のコミュニケーションの活性化
- ・ 組織目標とのつながりを実感できるチームでの業務遂行の推進など

(オ) 数値目標

- ・ 時間外勤務 月 80 時間超の職員 ゼロ
- ・ テレワークを希望どおり実施できている職員 50%以上
- ・ 全ての所属でのオフィス環境の整備
- ・ 県庁全体で業務改善が進んでいると感じる職員 70%以上

イ 組織・人事改革

(ア) 優秀な職員の採用

- ・ 職員採用ホームページの充実やWEB広告等の広報媒体の活用による積極的な情報発信
- ・ 民間企業における採用手法の導入など受験しやすい採用試験への見直し など

(イ) 働きがいや成長を実感できる人材育成

- ・ 組織的な事務引継やOJTの推進、新採用職員研修や職責に応じたマネジメント研修の充実
- ・ 民間のキャリアカウンセリングのさらなる活用
- ・ 人事評価結果のフィードバック等を活用した人材育成
- ・ キャリア開発や専門性の向上を意識した人事異動 など

(ウ) すべての職員が能力を最大限発揮できる職場環境の整備

- ・ 組織的な時間外勤務管理の徹底による長時間労働の是正
- ・ テレワークや時差出勤、フレックスタイム等の柔軟な働き方の推進
- ・ 女性職員の活躍推進、育児休業中の職員に対する支援 など

(エ) 効果的・効率的な組織・執行体制の構築と協力・連携の推進

- ・ 社会環境の変化等に応じた体制の整備
- ・ 業務量等を踏まえた適正な人員配置
- ・ 年度途中に突発的事態等が生じた場合の局・所属の枠を超えた業務応援 など

(オ) 健康経営の実践

- ・ 職員の高齢化を考慮した健康診断項目の追加
- ・ メンタルヘルス対策など職員の心の不調への対策の充実

(カ) 主な数値目標

- ・ キャリア形成の実感度 67%
- ・ 組織目標と業務との関連性・意義の実感度 67%
- ・ 選択研修で得たスキルの業務への活用度 100%
- ・ 健診総合判定Dの割合 20%以下
- ・ ストレスチェックの集団分析結果「総合健康リスク」90以下

ウ デジタル改革

(ア) 行政手続の電子化

- ・ 行政手続のオンライン化や公金収納のキャッシュレス化の推進

(イ) ICT基盤の整備

- ・ AIなどの新しいデジタル技術の利活用
- ・ EBPMと業務効率化の推進に向けたデータ利活用のための基盤整備

(ウ) デジタル人材の育成

- ・ デジタル行政の実現に向けたデジタル人材育成の推進

(エ) 指標（施策目標、数値目標）

- ・ 神奈川DX計画の施策集に位置付ける各施策について、達成度合いを把握、管理するための指標を設定

エ 財政改革

(ア) 税収基盤の強化

- ・ 企業立地の促進などによる県内経済・産業の活性化 など

(イ) 地方税財政制度の抜本的改革に向けた国への働きかけ

- ・ 国から地方への税源移譲や地方自治体間の税収偏在の是正などの働きかけ

(ウ) 県債の適切な管理

- ・ 県債発行額の適切な管理

(エ) 更なる歳入の確保

- ・ 県税以外の収入確保のための取組

(オ) 公共施設の計画的な管理

- ・ 公共施設の長寿命化や統廃合 など

オ 情報発信改革

(ア) 必要な情報が必要な人に届く当事者目線の広報

- ・ ターゲットに応じた適切な広報媒体の選択による情報発信

(イ) アーンドメディア※¹の積極的な活用

- ・ SNSなどの広報媒体を活用した情報の拡散

(ウ) インナーブランディング※²の手法による広報マインドの醸成

- ・ 全庁的な広報の共通マインドの醸成

(エ) 主な数値目標

- ・ 広報の伝達度※³ 60%
- ・ 県公式X（旧Twitter）「神奈川県庁広報」
⇒インプレッション数、いいね数
県公式YouTubeチャンネル「かなチャンTV」
⇒視聴回数、高評価数
20%アップ
- ・ 「3秒で伝わるデザイン」の庁内認知度 80%

※¹ アーンドメディア・・・口コミサイトやSNSの利用者、報道機関など第三者の立場から情報発信をするメディア。

※² インナーブランディング・・・従業員に対して、企業の理念やビジョン等を共有し、理解を深め、共感を持って行動を促すこと。

※³ 県民ニーズ調査における「かながわの広報」の結果を引用
「伝えている」と「どちらかという伝えている」の計

(5) 県民意見募集の結果

ア 募集方法

(ア) 意見募集期間

令和5年12月19日～令和6年1月17日

(イ) 県民に対する周知方法

県ホームページへの掲載、X（旧Twitter）などSNSの活用、県内大学が学生向けに開設しているサイトへの掲載、県庁インターンシップ参加大学生への案内

(ウ) 県民意見の提出方法

電子申請システム、郵送、ファクシミリ

イ 実施結果

(ア) 意見総数

38件（第3期行政改革大綱及び各アクションプランへの意見の合計）

(イ) 意見区分

区 分	件 数
働き方改革に関する意見	9件
組織・人事改革に関する意見	5件
デジタル改革に関する意見	7件
財政改革に関する意見	0件
情報発信改革に関する意見	10件
行政改革大綱等全般に関する意見	7件
合 計	38件

(ウ) 意見の反映状況

区 分	件 数
行政改革大綱等（案）に反映した意見	6件
行政改革大綱等（素案）にすでに反映している意見 （賛成意見も含む）	17件
今後の取組の参考とする意見（既に取り組んでいる 意見も含む）	10件
行政改革大綱等（案）に反映できない意見	0件
その他（感想、質問等）	5件
合 計	38件

(I) 主な意見

- a 行政改革大綱等（案）に反映した意見
 - ・ 5つの取組分野と6つのアクションプランの関係性が一目で分かりづらいので、関係図を示したらどうか。
- b 行政改革大綱等（素案）にすでに反映している意見
 - ・ テレワークの推進にあたっては、紙資料前提の働き方を見直す必要があると思う。
 - ・ デジタルを活用して、県民の暮らしが一層豊かで便利なものになるよう神奈川DX計画をしっかりと実行して欲しい。
- c 今後の取組の参考とする意見
 - ・ 職員一丸となって行政改革に取り組んでいくためにも、取組内容が職員に伝わるような工夫をして欲しい。

- ・ 業務改善の好事例を全庁に共有する、といったことは良いことだと思う。さらなる拡大として、他県庁での好事例の取入れを検討することを実施してみても良いのではないか。

(6) 素案からの主な変更箇所

- ・ 県民意見を受けて、「第3期行政改革大綱（案）」に取組分野と個別計画の関係図を追加
- ・ アクションプラン「神奈川DX計画（案）」に施策集を追加（参考資料11 参照）
- ・ アクションプラン「神奈川県広報戦略（案）」に数値目標を追加（参考資料13 参照）

(7) 今後の予定

令和6年3月「第3期 行政改革大綱」及び各アクションプラン※の策定

※ 既存計画の「神奈川県公共施設等総合管理計画」（令和4年3月改訂）を除く